



写真提供：(公社) 日本馬術連盟

人馬一体で掴む数々の栄光

全日本総合馬術大会選手権競技チャンピオン

中島 悠介さん (海老ヶ島出身・36歳)

選手として指導者として
国内の先頭を走り続ける

「愛馬、クレジットクランチは本当に優秀な子で、実力を発揮させてあげれば、日本一になれると信じていました」と話すのは、つくば市にある乗馬クラブで代表を務める中島悠介さん。

10月に開催された、国内最高峰の大会「第50回全日本総合馬術大会選手権競技」で念願の初優勝を飾りました。中島さんは、令和元年に開催された「いきいき茨城ゆめ国体」総合馬術成年男子の部でも優勝しています。

中学生のときに乗馬を始め、高校、大学では日本代表にも選出されました。社会人となり自身のクラブを開設し、競技を続ける傍ら指導者としても国体優

勝選手を輩出しています。「初めて馬に跨がったときの感動を多くの人に伝えたくて、乗馬クラブを開設しました。自身のメ

ンタルだけでなく、馬を思いやる気持ちも求められるこの競技は、子どもたちの情操教育にも、最適だと思っています」と話す中島さん。

愛馬とスタッフ 一丸で勝ち取った栄光

「馬術は、生き物と一緒に行う唯一の競技で、馬の気持ちを感じ取ってあげなければいけないもの。今回の優勝で、初めて『人馬一体』というものがわかった気がします」と愛馬との絆を語ります。また、馬の管理や移動時のケアなど、周りのサポートも重要で「妻やスタッフのサ

ポートがあつてこそ、競技を続けていくことができます」と周囲への感謝も忘れません。

今後については、「目標は大会連覇です。国体については、恩師が前人未踏の6連覇という記録を持っているので、この記録を超えるつもりで頑張りたいです」。日本一の栄光を掴みとつてもなお、中島さんの挑戦は続きます。



11月18日には須藤茂市長を表敬訪問し、全日本総合馬術大会での優勝を報告しました。

